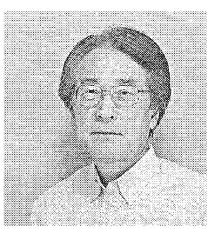


短編小説

第48回神奈川新聞 文芸コンクール

入選作決まる

<最優秀>
二十三歳の伝令
池田 洋一さん

横浜市旭区

いけだ・よういち
1949年生まれ。秋田県出身。国学院大学文学部卒。横浜市立中学校に奉職。37年間勤め定年退職。二十代の頃は
軟弱だった

知人の話と伯父の話を合せて書きました。戦争の話を聞くといつも十代から二十代の若者たちが国を背負って死んでいたことを想います。その年頃、自分はどれだけ軟弱だったか。けれど軟弱でも生きられたことを幸せだと思わずにいられません。

選んでいたいだいたことに驚きと感謝と深い喜びを感じています。

佳作 || 敬称略 ||

現代詩

「やっちゃん」 倉坂益子(61)
 〔夢綺譚〕 星博士 風の峡谷 合唱
 「リアンとアンナ」 むね田三千代(赤田三千代)(46)
 〔卓袱台返し〕 鹿野島季二(65)
 〔アノの行方〕 横浜市神奈川区
 村中江利(中村利江)(53)
 〔欲望〕 森田伸一(48)
 〔おとぎ話には一つの欠点〕 横浜市泉区
 母禮いつき(高橋一起)(77)

※最優秀該当なし

佳作 || 敬称略 ||

【未来】 季音(吉村毬花)(22)
 【巣立ちの場所】 天下泰平(白井泰平)(17)
 〔すすきが原〕 笹屋雅美(69)
 【ストレンジ】 おもち(川嶋美沙希)(17)
 〔私のいしぶみ〕 赤木祐子(59)
 〔空を見上げて(てん校するあなたに)〕 矢野俊彦(75)
 〔わが方丈記〕 高井良一(60)
 〔厚木市〕 高井良一(60)
 〔厚木市〕 高井良一(60)

神奈川新聞社が主催する「第48回文芸コンクール」の入選作品が決まりました。最優秀は、短編小説部門が池田洋一さん(69)の「二十三歳の伝令」。現代詩部門は該当がなかった。審査はそれぞれ、作家の伊東潤さん、詩人の中島悦子さんが務めた。応募総数は小説が127編(規定外8編含む)、現代詩が122編で、昨年に比べて小説は10編、詩は40編減少した。両部門とも過去の受賞経験者と初受賞者がバランスよく選ばれた。最優

年も、現代詩部門が30万円、現代詩部門が10万円(該当なし)。佳作は小説が3万円、詩が1万円。両部門とも、過去の受賞経験者と初受賞者がバランスよく選ばれた。最優

悦子さんは務めた。応募総数は小説が127編(規定外8編含む)、現代詩が122編で、昨

年に比べて小説は10編、詩は40編減少した。両部門とも過去の受賞経験者と初受賞者がバランスよく選ばれた。最優

悦子さんは務めた。応募総数は小説が127編(規定外8編含む)、現代詩が122編で、昨

年に比べて小説は10編、詩は40編減少した。両部門とも過去の受賞絏験者と初受賞者がバランスよく選ばれた。最優

悦子さんは務めた。応募総数は小説が127編(規定外8